

# SAITO YOSHISHIGE WORKS: after 1980's

特集展示

## 齋藤義重 1980年代以降を中心に

2012

9.8 [土] ▶ 10.21 [日]

主催：千葉市美術館

特別協力：富山県立近代美術館

開館時間：10:00 ▶ 18:00 (金・土曜日は20:00まで)

※入場は閉館30分前まで

休館日：10月1日(月)

観覧料：一般 200(160)円、大学生 150(120)円

※( )内は団体30名以上

※小・中学生、高校生、千葉市内在住60歳以上または千葉県在住の65歳以上の方、および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※同時開催「プラティスラヴァ世界絵本原画展」入場者は無料

※10月18日(木)は「市民の日」につき無料開放

### 千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

Tel. 043-221-2311(代) / FAX. 043-221-2316

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 / <http://www.ccma-net.jp>

《Black Boxes》部分(1995) 撮影：内田芳孝

# SAITO YOSHISHIGE WORKS: after 1980's

日本における現代美術の開拓者である齋藤義重(1904 - 2001)が1980年代以降に制作した代表的な作品を、本館の所蔵作品を中心に展示します。

千葉市美術館は2003年から翌04年にかけて開催された、岩手県立美術館をはじめとする全国5館の美術館による齋藤の歿後初めての大回顧展に参加し、彼の長い造形のあゆみを紹介しました。とりわけ、彼が1980年に制作した「反比例」シリーズにはじまる黒い板の組み合わせによる立体作品は、展示会場の空間に合わせ変化するフレキシブルな性格を持っています。作者不在となった回顧展では各館の担当学芸員たちがそれぞれの研究を基に展示を行い、多くの反響を呼びました。今回は、回顧展とはまた違った会場構成を行います。

本展では当館の所蔵作品の他、回顧展で共に協力し合った富山県立近代美術館と個人御所蔵の作品など約25点を展示し、この不世出のアーティストによる造形の魅力を再考します。



《T/S-遊牧》1984 富山県立近代美術館蔵 撮影:江田健一



《トロウッド》1993(原作1940) 富山県立近代美術館蔵



《Seisaku ing》1985 千葉市美術館蔵 撮影:山本双六

## ■同時開催

「プラティスラヴァ世界絵本原画展—広がる絵本のかたち」

## ■市民美術講座

11階講堂にて 14:00(開場13:30) 先着150名 聴講無料

千葉市が今まで収集した美術品は、企画展や所蔵作品展でテーマを決めて公開していますが、収集された美術品が美術史の中でどのように位置づけられるのか知りたいという声が寄せられています。

「市民美術講座」はこのような声にお答えし、市民のみなさまに千葉市美術館のコレクションを紹介し、作品についての理解を深めていただくものとして、2004年度より実施しております。

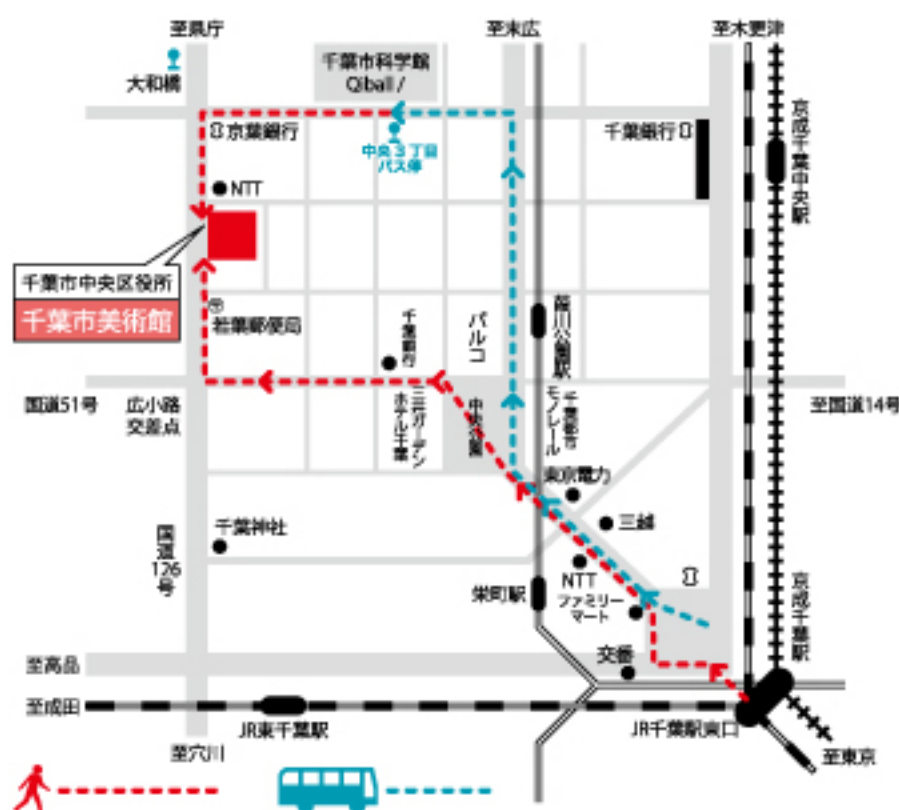
- ・「齋藤義重氏の思い出」  
9月22日(土) 講師:藁科英也(当館学芸係長)
- ・「美術館で楽しむ絵本とイラストレーション」  
10月13日(土) 講師:山根佳奈(当館学芸員)

## ■次回展予告

「須田悦弘展」/「所蔵作品展 須田悦弘による江戸の美」

初期から現在にいたる代表作を紹介するとともに、新作も展示。首都圏初の大規模な個展。

10月30日(火)~12月16日(日)



## ■交通案内

JR千葉駅東口より徒歩約15分、またはバスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩3分

千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩5分

京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

東京方面から車で 京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く。

\*千葉市中央区役所と同じ建物です。

\*地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください。



千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

Tel. 043-221-2311(代)/FAX. 043-221-2316

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8/http://www.ccma-net.jp

